

八幡平市教育委員会会議録

令和3年12月24日（金）

八幡平市教育委員会

令和3年12月八幡平市教育委員会定例会会議録

1. 開催日時

令和3年12月24日（金）午後2時58分から午後4時08分

2. 場所

八幡平市役所本庁舎3階 大会議室

3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	伊 藤	政 行
委 員	宮 野	朋 士
委 員	松 田	育 恵

4. 欠席者

委 員	羽 沢	憲 英
-----	-----	-----

5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	照 井 英 輝
教育総務課長補佐兼総務係長兼学校給食センター副所長	佐々木 由理香

6. 傍聴者

なし

7. 教育長あいさつ要旨

11月定例会後の主な行事等について報告

- 1) 11月16日（火）岩手県学校教育ICT推進協議会 ICT教育の推進、公務支援システムという学校事務や先生方の多忙化解消のための、いろいろな成績処理等についてシステムを使って進めるという、県内同じものを導入していくという方向で検討している。令和6年度を目標にということを進めているが調整中である。同日、県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換では、八幡平市から特別支援学校の八幡平分教室の設置について、お願いを申し上げているところである。ハードルは高そうであるが、これから粘り強く取り組みを進めていきたい。
- 2) 11月17日（水）小・中学校長会議 松尾中学校の生徒は大変落ち着いて勉強していた。この校長会議では、大更駅前に構想されている新図書館、

顔づくり施設についての進捗状況等を校長にも説明した。

- 3) 11月18日(木) 令和3年度市町村教育委員会第2回オンライン協議会
全国の教委長会議等々がほとんど中止になっているため、その代わりオンラインでの協議会を行っている。ここで話題になったことは、不登校の子どもにタブレットを使って、オンラインで子どもたちとやり取りをしている。授業を受けさせたり、健康観察をしたりしているところが、全国にはたくさんあることが勉強になった。今後、生かしていきたいと思っている。
- 4) 11月22日(月) 八幡平市教育支援委員会 支援が必要な子どもの就学について、専門家の意見を聞きながら方針を決定した。
- 5) 11月24日(水) 第2回八幡平市小中学校適正配置検討委員会 今後の統廃合の進め方で、市教委の方針を基に説明を行った。
- 6) 11月25日～29日 学校長面談 人事異動に関わっての面談である。
- 7) 11月29日(月) 八幡平市コミュニティ・スクール推進協議会
- 8) 12月1日(水) 松野小学校沿岸交流視察 宮古、山田、田老地区から83名の方が松野小学校にいらした。子どもたちは歌や劇などで大歓迎をして親交を深めた。
- 9) 12月2日(木) ことば親の会面談 ことばの教室を来年度も維持してもらいたい。また、LD教室を中学校にも設置してもらいたいという要望をいただいた。
- 10) 12月5日(日) 令和3年度八幡平市スポーツ少年団活動発表会 各少年団から活動報告を、作文発表という形で代表者が行った。
- 11) 12月7日(火) 教育研究所防災教育重点部会 火山教育副読本がもう少しで完成する。同日、平舘高等学校第2回教育振興会理事会では、これまでの支援に加えて、制服代に対して補助してほしい旨の提言があった。
- 12) 12月15日(水) 小・中学校長会議 冬休み中のタブレットの持ち帰りについての確認が行われた。また、ワクチン接種の状況についてお知らせした。
- 13) 12月16日(木) 盛岡教育事務所の学校長人事ヒアリング
- 14) 12月20日(月) 特別支援学校分教室設置に係る県教委訪問
- 15) 12月23日(木) 西根中学校学校運営協議会視察 熱心な意見交換があつて、こうやって学校が支えられているということを実感した。同日の、令和3年度市町村教育委員会第3回オンライン協議会での話題は情報教育ということで、他県の取組に学ぶことができた。

1月の主な行事について報告

- 1) 12月25日(土) 田山スキー場開き
- 2) 12月27日(月) 第2回イングリッシュキャンプ
- 3) 1月3日(月) 八幡平市消防出初式
- 4) 1月4日(火) 仕事始め式

- 5) 1月9日(日) 八幡平市成人式・22才の集い(令和2年度八幡平市成人式)
- 6) 1月13日(木) 第2回八幡平市総合教育会議
- 7) 1月18日(火) 令和3年度第4回管内教育長会議並びに第1回人事異動等調整会議
- 8) 1月19日(水) 第10回小・中学校長会議
- 9) 1月24日(月) 教育委員会1月定例会
- 10) 1月31日(月) 教育研究所研究発表会

8. 報告事項の要旨

(教育総務課)

市議会12月定例会の一般質問の教育関係では、図書館移転整備するに当たって、図書館を核としたまちづくりやひとづくりに関連して、どういったソフト事業を展開していくのかという質問に、子どもの成長を支える活動、市民の交流支援、観光客や来訪された方々に対する支援、まちの魅力発見、まなびの拠点等々詳細までは話していないが、市民に対する意識、ニーズを的確に捉えながら、従来の本を提供するというだけでなく、図書館の基本であるまなびの場、子育ての場、交流の場、情報発信の場、そういったものを通じて市民のコミュニティの中心になる場所になるような事業を展開していきたいということをお答えした。それから、現在の図書館の利用状況と、移転した後の現在の図書館の跡地利用についての考えという質問をいただいている。利用状況について、高校生やヤングアダルトと言われる層の利用率が低い。この層にターゲットを絞った特色・傾向やニーズを把握して、学習調査、研究に役立つ資料等を支援するディファレンスサービス、そういったものをもっと充実していかなければならない。それが現図書館の最大の課題である登録者率の底上げにも繋がっていけばいいのかなど。跡地利用については全くの白紙であり、今後検討していきたい。教科担任制についての質問があった。現に6つの小学校で英語や理科について、加配を受けて実施している。これを導入した時の利点とすれば、専門の教員の指導による学習内容の理解度や授業の質の向上。学級担任の負担軽減、多面的な児童の理解につながる、中1ギャップの解消。課題とすれば小規模校には専科の加配はされにくい。そういったところから時間割の編成が難しいとお答えしている。それから、以前から出ている学校給食費の無料化についての質問である。基本的には、全国的に格差が起きないように国が主導でやるべきことと繰り返し述べている。学校施設の老朽化対応やICT環境の整備など、教育環境の改善、図るべき優先する課題がまだまだ山積しているので、そこにこういった無料化にする、恒常的に行っていくというのは難しいということで、従来と同じ答弁をしている。

(教育指導課)

この2学期は、全国的にコロナ感染症の第5波の大きな感染拡大があった中で、本市の児童生徒に感染者が出ることがなく、無事に2学期を終えられること

は、各学校の先生方、保護者のみなさん、支えていただいている地域のみなさんの努力のおかげであると、心より感謝している。

11月22日第2回教育支援委員会が行われ、市内小・中学校に在籍する児童生徒22名の望ましい就学について検討した。昨年度は20名、一昨年度は9名だったので、年々対象となる子どもの数は増加している。また、来年4月に小学生になる幼児2名についても、望ましい就学の検討の対象となっている。22名の在学児童生徒については、現在、各学校が教育支援委員会の望ましい就学の案を踏まえて、保護者と相談を進めている。幼児2名については、保護者が子どもにより手厚い支援を希望されており、県立の特別支援学校への入学を希望し、学校の見学にも参加し、手続きを進めている状況である。また、教育委員会として、市内の5つの小・中学校において、来年度の特別支援学級の新設や変更を、現在、県教委に申請している。その内容は、田頭小学校では、知的学級を情緒学級に変更、平舘小学校に弱視学級の新設、柏台小学校に情緒学級の新設、安代小学校に知的学級の新設、安代中学校に知的学級の新設である。

11月29日のコミュニティ・スクール推進協議会の研修会では、市のコミュニティ・スクール推進協議会委員の皆さんと、各学校の学校運営協議会の会長または副会長や委員の方で41名の参加をいただいた。講師には、宮城教育大学学長付特任教授の野澤令照様をお招きし、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の成果と今後の方向性について、ご講話をいただいた。本市のコミュニティ・スクールは、充実期を迎えており、次の段階の発展期を目指して、大人のつながりを大事にすること、子どもを真ん中に、大人がチームになること、新しいことを立ち上げるのではなく、これまでの活動を地域の方々とともに力を合わせて骨太にすることなど、具体的な事例を紹介しながら方向性を示していただいた。短い時間ではあったが、参加者にとって有意義な研修とすることができたと認識している。八幡平市が目指す、郷土を愛し大切にすることの育成を目指し、地域とともにある学校の実現に向けて、コミュニティ・スクールの取り組みの充実を図っていきたいと考えている。

9. 報告事項についての質疑

○星教育長

今までの報告の中で、何かご質問ありますでしょうか。

○伊藤委員

図書館について、利用者・登録者少ないとのこと。そういった中で、どのようにして増やしていくのか、何か策はあるのでしょうか。本を読むという習慣が薄れてきて、図書館に行かなくても情報収集できる。新しい図書館ができて、実際利用者がいるのか不安に感じます。

○工藤教育総務課長

新規利用者をどう呼び込むか。利用される方が探しやすい分類の仕方、暮らし

の情報等入口からのアレンジを変えながら、気軽に立ち寄れることをモットーに考えます。本を通じての研修の部分の企画・イベント等、子ども向けだけではなく、大人向けの部分も充実していければと思います。

○星教育長

2階に子育て支援施設が入ることに関連して、子育てに関わる本、小さい子が読める本の充実。そうれから、読書通帳といって、銀行の通帳のようなものを持って、それにその人の読んだ本が全部記録されていく、励みになる、読書意欲をそそる取り組みと聞いていますので、これを取り入れてみたいと思っています。八幡平市らしい図書館にしたいということで、江間章子さんの詩のコーナーや、岩手山や八幡平市が目の前ということで、登山やトレッキングの情報コーナー、立地が駅前ということもあり、市外の人も呼べるようなそういう図書館にしていければと思います。

10. 議事

報告第1号 「議会の議決を経るべき議案について（令和3年度一般会計補正予算第9号）」

11. 議事の概要

○星教育長

報告第1号 「議会の議決を経るべき議案について（令和3年度一般会計補正予算第9号）」を事務局から説明お願いいたします。

○工藤教育総務課課長

それでは、報告第1号「議会の議決を経るべき議案について（令和3年度一般会計補正予算第9号）」です。

（資料に基づき説明）

○星教育長

報告第1号について説明がありました。質問等ありましたらご発言お願いいたします。

（「なし」の声あり）

○星教育長

それでは質疑を終結致します。お諮り致します。報告第1号「議会の議決を経るべき議案について（令和3年度一般会計補正予算第9号）」を、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、報告第1号は原案のとおり承認されました。

12. その他

○星教育長

それでは5その他に入ります。事務局から何かありますか。

○工藤教育総務課長

ありません。

○星教育長

委員の皆さんから何かありますでしょうか。

(委員から「なし」の声あり)

13. 閉会

○星教育長

それでは、これを持ちまして八幡平市教育委員会定例会の部分は閉じさせていただきます。ありがとうございました。